

東北地方太平洋沖地震を踏まえた 対応状況について

平成23年4月1日

関西電力株式会社

対応体制の確立

(復興支援・総合対策推進会議の設置)

東北地方太平洋沖地震について、全社一丸となって復興支援に取り組むとともに地震等による大規模災害に備えた対策に万全を期すため、対応体制を確立

東北地方太平洋沖地震 復興支援・総合対策推進会議

○設置日

平成23年3月15日

○要員構成

議長：取締役社長 八木 誠

副議長：全取締役副社長(4名)

委員：全常務取締役(10名)

幹事：企画室長、総務室長

○主な業務

- ・復興支援実施に当たっての総合調整
- ・大規模災害に備えた当社電力設備に関する対策の高度化および総合的な防災対策の基本方針の策定

復興支援部会

設備・防災対策部会

原子力特別部会

○設置日 平成23年3月15日

○要員構成

主査：豊松 原子力事業本部長

副主査：本部長代理、地共本部長(2名)

委員：副事業本部長他(20名)

幹事：原子力企画部長

○主な業務

- ・地震および津波等に対する安全性向上対策の検討
- ・東京電力への支援方策の検討
- ・福井県等地元の皆さまへの情報発信方策の検討

など

地震および津波等に対する安全性向上対策

東北地方太平洋沖地震に伴う
東京電力㈱福島第一発電所の状況

関西電力の対応

【止める】

地震発生により原子炉自動停止

地震・津波の影響により、非常用電源喪失
(送電線、非常用発電機の機能喪失)

【冷やす】

炉心冷却機能の
喪失

・燃料貯蔵プールの
水位低下
(温度上昇)

【閉じ込める】

放射性物質の
放出

既に実施済み(実施中)

今後、検討・実施する対策

電源

・電源車3台配備

・非常用発電機の健全
性確認

・非常用発電機の起動
試験(実施中)

・非常用発電機代替設備
の設置

・海水供給用可搬式ポン
プの設置

・送電線の強化

炉心冷却

・ECCS等の巡回点検

・ECCS機器の起動試
験(実施中)

・海水ポンプ用防護壁の
設置

・安全上重要な設備の機
能維持のための設備対
策

燃料プール冷却

・使用済燃料ピットの冷却
機能の強化

全体に関わる対策

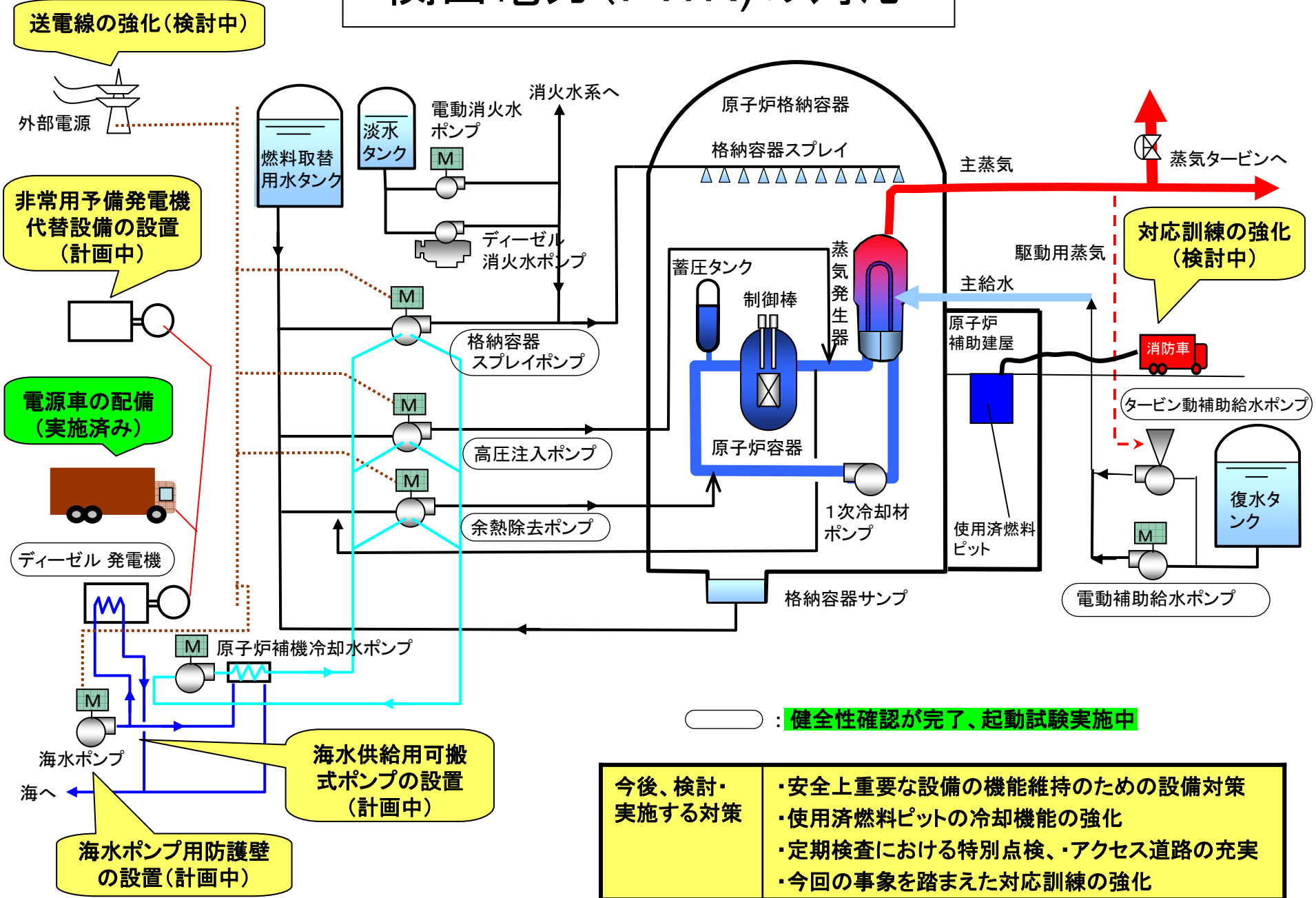
・定期検査における特別
点検

・アクセス道路の充実

・今回の事象を踏まえた
対応訓練の強化

注: 福井県殿のご要請を受けた対応

関西電力(PWR)の対応



- | | |
|---------------------|--|
| <p>今後、検討・実施する対策</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・安全上重要な設備の機能維持のための設備対策 ・使用済燃料ピットの冷却機能の強化 ・定期検査における特別点検、アクセス道路の充実 ・今回の事象を踏まえた対応訓練の強化 |
|---------------------|--|

電源車等の配備

4

万一の災害発生時に備え、「消防車」、「電源車」の配備を完了。

消防車



各発電所に配備

- ・化学消防車1台
- ・水槽付ポンプ車1台

(平成20年2月 配備済)

電源車



若狭地域に3台配備

(3月12日 配備済)

非常用発電機代替設備の設置

津波の影響を受けない位置に、炉心を安全に冷却するのに必要な機器や監視計器に十分な容量の移動式電源車を設置し、炉心冷却機能を確認する。

※発電時に電源・冷却水不要



【空冷式非常用発電機本体】

海水供給用可搬式エンジン駆動ポンプの設置

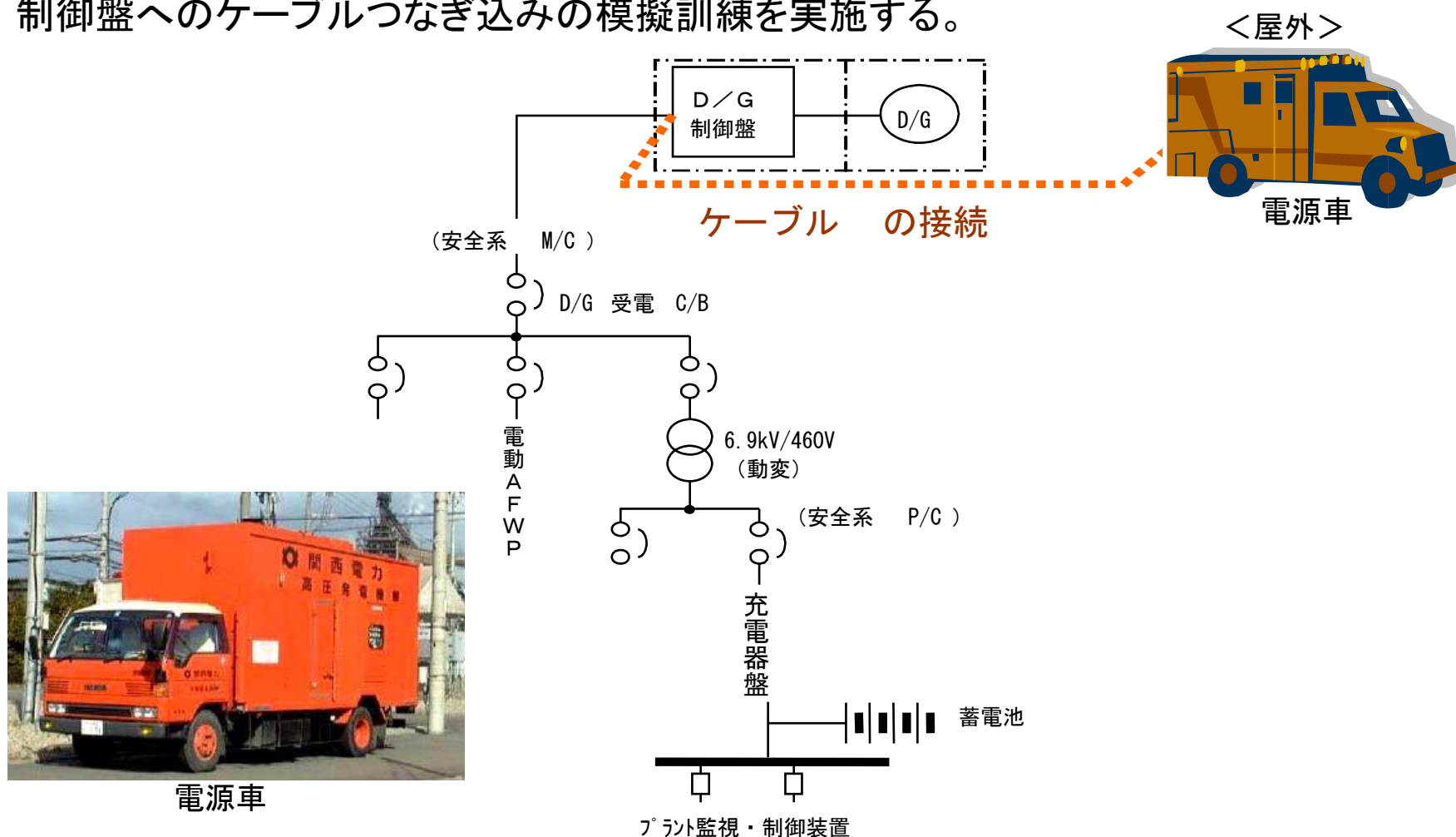
非常用ディーゼル発電機の冷却を実施できるように海水供給用可搬式空冷エンジン駆動ポンプを設置し、非常用電源を確認する。



今回の事故を踏まえた電源車による電源復旧の訓練の例

〔訓練の概要〕

全交流電源喪失時を想定し、電源車の移動、設置および非常用ディーゼル発電機制御盤へのケーブルつなぎ込みの模擬訓練を実施する。



ま と め

- 今回の事故を非常に重大なものと受け止め、全力を挙げて、事故の情報収集、分析ならびに対策検討を行い、設備の安全性・信頼性の確保につとめ、引き続き安全・安定運転に万全を期していきます。
- 事故を踏まえた対策については、実施可能なものからすみやかに実施していくとともに、今後得られた知見を適切に反映していきます。